

今野やすとし一般質問一覧

※質問の詳細及び執行部からの答弁は下記、伊勢原市議会ホームページの会議録をご参照ください。

<https://www.city.isehara.kanagawa.dbsr.jp/index.php/#detail>

年月	No.	質問項目	質問要旨
令和5年12月	1	自治会等の地域コミュニティの再構築について	(1)自治会等の地域コミュニティの希薄化について 今日の自治会等の地域コミュニティの希薄化について、どのような認識を持っているのか。また、地域コミュニティを維持するための支援の必要性について、どの様に考えているのか伺います。
			(2)デジタル技術を活用しての地域コミュニティの再構築について 今後は、デジタル技術を活用して、住民同志の情報交換の場の創設、また持ち回り回覧板を電子回覧板への移行、更には広域的に活動している様々な事業主体と地域住民の情報交換の場を開設したりと、柔軟で多様な連携を可能にする自治会等のデジタル化を進める必要があると思います。 そこで、自治会等のデジタル化など、デジタル技術を活用しての地域コミュニティの再構築について、どの様に考えているのか、また具体的にどの様な取組みを進めているのか、伺います。
			(3)地域コミュニティの担い手について 高齢者の人口比率は高止まりし、中でも75歳以上の人口比率が増え続ける中で、今後は、地域コミュニティの担い手を、自治会等に限定する必要はなく学校や子ども食堂、NPOや企業など、多様な人材や組織が柔軟に連携する中で、安全に安心して暮らせる共助のしくみを構築することも必要かと思いますが、見解を伺います。
			(1)プラスチック資源循環法対応の進捗状況について 令和3年12月定例会の一般質問において、「プラスチック資源循環促進法」の本市の対応準備状況を確認させていただいておりますが、現状の取組状況を伺います。

年月	No.	質問項目	質問要旨
	2	SDGsの推進における地球温暖化対策について	<p>(2) プラごみゼロに向けた取組について  プラスチックごみゼロに向けた取組について全国の自治体で計画され展開されています。神奈川県においては、「かながわプラごみゼロ宣言」を行い、県内33市町村と連携してプラごみゼロに向けた取組を進めています。本市のプラごみゼロに向けた具体的な取組内容を伺います。</p>
			<p>(3) SDGsの推進における「給水ステーション設置について」  マイボトル給水器は、プラごみ削減だけでなく、公共施設に設置することで災害時や避難所における水分補給、熱中症対策等にも役立ちます。また、本市のエコ活動にもつながると考えます。このような給水器の設置を是非行っていただきたいと考えますが、見解を伺います。</p>
	1	安心して安全な子育て環境の整備について	<p>(1) 0歳児の見守り訪問事業の拡充について  本市においては、「新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問」を実施しています。その上で、「0歳児の見守り訪問事業」の更なる充実が必要と考えますが見解を伺います。</p>
			<p>(2) ファミリー・サポート・センター事業の現状と課題について  小さなお子さんを持つ人が安心して子育てができるよう市民がお互いに助け合っていくことをめざした相互援助活動を行う「ファミリー・サポート・センター」を設置していますが、現状と課題を伺います。</p>
			<p>(3) 子ども食堂の整備について  子ども食堂の運営のためには、スタッフやボランティアなどの人材、事業を展開するための場所、事業を継続するための運営資金、さまざまな食材、地域や学校との連携のための人脈、保健衛生管理などの知識など、様々な運営資源の確保が必要です。  また、児童虐待やいじめ、不登校、自殺も増え、子どもを巡る状況は深刻であり、様々な形態の子ども食堂の整備や運営をサポートする体制を整備し、我が地域へ柔軟かつ積極的に、子ども食堂の整備を進めるべきと考えますが、見解を伺います。</p>

年月	No.	質問項目	質問要旨
令和5年9月	2	学校図書館の充実と子どもの読書活動の推進について	<p>(1)学校図書館の現状について 文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定しています。本計画は、公立小中学校等の学校図書館における、学校図書館図書標準の達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備、学校司書の配置拡充が図られることを目的としており、本計画に基づいた地方財政措置が講じられています。そこで、本市の小中学校各図書館における、学校図書館図書標準の達成状況、計画的な図書の更新状況を伺います。</p>
			<p>(2)図書館司書の配備状況について 学校図書館司書について、平成26年6月の学校図書館法の改正により、「学校には、学校司書を置くよう努める。」旨が明記されています。本市においては、図書館整備員は配置しているものの、図書館司書の配備については、数年前からの検討案件になっていたと承知していますが、現状を伺います。</p>
			<p>(3)子どもの読書活動の推進について 「子どもの成長に読書がもたらす力は、かけがえのないものであり、人格形成に対しても影響力があると言われています。そこで、本市における「子どもの読書活動の推進状況と課題」を伺います。</p>
			<p>(1)高齢者の移動手段について 食品など日常の買い物に困っている高齢者などを支援するため、食料品などを自宅に届ける宅配サービスや、地域を巡回する移動販売カーの運行を進めるべきと考えますが、見解を伺います。また、スーパーなどの商業施設及び、通院するための市内主要病院への送迎用のデマンド交通の整備も有意義かと考えますが、見解を伺います。</p>

年月	No.	質問項目	質問要旨
令和5年6月	1	共に支え助け合う地域社会の構築について	<p>(2)心のサポーター養成制度の充実について          ここ数年、社会問題としてメディアで多数取り上げられているのが8050問問題です。80代の親が、自宅にひきこもる50代の子どもの生活を支え、経済的にも精神的にも行き詰まってしまうことも少なくありません。引きこもりやうつ病などの精神疾患への正しい知識と理解を持って、PTSD(心的外傷後ストレス障害)を抱えてしまっている人も含めて、メンタルヘルスの不調を抱える人を地域や職場で支える「心のサポーター」の養成が急務と考えます。本市では、悩みを抱えている人を適切な相談窓口につなげるため、精神疾患等について学ぶ「こころサポーター養成講座」を開催などのこころの健康づくり推進事業を展開していますが、現状と課題を伺います。</p>
			<p>(3)ヤングケアラー等への支援の推進について          社会の高齢化や核家族化の進展に伴い、ヤングケアラーも増加しています。誰もが介護者となりうる現状において、介護する人(ケアラー)が、孤立することなく、当たり前の日常を送れるように、ヤングケアラーやダブルケアラーも含めて、介護者を支援するために、相談窓口や家事支援体制の整備が必要と考えますが、見解を伺います。</p>
	2	自治体DXについて	<p>(1)市民通報システムの導入について          道路や公園施設等の破損情報をスマートフォンから通報できる市民通報システムの導入に向けての取組み状況及び導入に向けての具体的なスケジュールを伺います。</p>
			<p>(2)書かないワンストップ窓口導入について          業務改革(BPR)とシステム活用による「書かないワンストップ窓口」を導入する自治体が増えています。本市においても、市民の利便性向上と職員の事務作業効率化、サービスレベルの標準化を目的にして「書かないワンストップ窓口」を導入すべきと考えますが、見解を伺います。</p>
			<p>(3)外部デジタル人材の活用について          自治体DXまたスマートシティを推進していく上で外部デジタル人材の活用が重要です。民間企業などのデジタル人材を活用することにより、新たなデジタルテクノロジーを導入し、効率的かつ効果的な市民サービスを提供できると考えますが、見解を伺います。</p>

年月	No.	質問項目	質問要旨
令和5年3月	1	財政健全化の取組について	(1)地方税収入増加に向けての取組について 地方税収入増加に向けて、本市の地域経済の振興策について伺います。 多くの市民の個人所得は賃金です。通常賃金は企業の利益に依存されます。 市民税・個人所得割の増加には、企業の利益が増えることが大前提となり、市内企業・事業者の売上向上に向けての政策を推し進めることが重要です。 この点に関して、施策及び成果を伺います。
			(2)ふるさと納税の現状と課題について 本市の過去3年間のふるさと納税の件数及び寄附金額の推移及び課題認識について伺います。
			(3)企業版ふるさと納税の取組状況について 企業版ふるさと納税は、寄附募集開始から1年が経ちましたが、企業版ふるさと納税を推進していくための現状と今後の取組について伺います。
	2	高齢者支援の充実について	(1)認知症施策の取組状況について 国は令和元年6月認知症施策推進大綱を発表し、認知症基本法案の成立を進めておりますが、この大綱では新たに共生と予防を両輪としているのが特徴です。認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指すとあります。これらの国の推進大綱を踏まえた本市の認知症に対する取組状況について伺います。
			(2)難聴者の支援について 認知症対策を進める上でも、今後、補聴器の公費助成などについても検討していく必要があると考えますが、見解を伺います。